

私達を取り囲むより大きな現実を知るためには、**第六感**とカバリストが呼ぶ、もう一つの**感覚を養う必要**があります。それは、占い師などの第六感ではなく、**自我のプログラムで制限されていない外在現実を実際に感知させる感覚**のことです。そうするには、その**要求**がなくてはなりません。箱の外側で働き、何かを築くには**自分の利得で満足しては無理**です。しかし、創造の思考の中には、**人を完全な充足に至らせる法則**があります。私達を動機づける力が、**箱からの脱出に対する必要性**を感じさせる状態に至らせます。私達が、自分たちの正体を理解すれば、私達が**“受け取る意思”**、利己的な存在、エゴイストとして創られたことです。それでも悪いわけではありません。この**充足に至るために、実際に必要な事**なのです。私達は創造の思考がくれた、この進化させる力の正しい利用法を学ばなくてはならないだけです。

では、現実の中で物事を動かすものは何でしょう？ 何が物事を生じさせるのでしょうか？ この世界で人が行う事、それが内面的だろうが、この世界を超越した霊的な事であろうが、全てが唯一起きる理由は… 考えてみましょう。

あなたはそこに座っていて、姿勢を変えたり、見るために目を動かしたり、飲み物を手に取ることなど、あなたが今しているどんな動作も、1つの計算で起きています。それは、あなたが今いる状態で不快になり、あなたの中に要求が現れて、今より**快樂**があると信じる新しい状況、または状態に動いたのです。この快樂における不足(欠乏)と充足、及び欲望の力が現実の全てのものを動かします。これはいずれ、人をこの身体的世界から、物質界の感覚、制限された経験とそれに付随する苦しみから、正しく利用することで、バリアを通過させ霊的な世界に到達させます。私達には、要求とその変化を感じることはできますが、私達の中にあるこのシステムによく注意を払わないため、それが私達に何をしているのか理解してません。**最初に把握する快樂**とは、**生存に必要なもの**です。**最初の快樂**に必要なものは、性交、食べ物、住処(俗に言う**衣・食・住・性**のこと)です。私達の全努力、仕事、世の中で感知するもの、人生の目的はこれらの獲得と関係があり、この欲求は動物にもあります。それは単に生存するためであって、他人を要しません。いったんこれらを満たすと、人生はこれだけではないと考え、満足しなくなり、**第二の願望**が現れます。**富への願望**です。**富は第一願望の蓄積であり、生存することの心配がなくなる**と言うものです。この富への欲を満たすと「人生ってこれだけ？」と感じるようになり、新たな願望が現れます。それは単にもう一つの願望ではなく、より大きくて前のものを包有しています。言い換えると、ここではまだ小さな欲と小さな充足。ここでは欲が大きくなり、大きな充足を要求するのです。これはこの中に包含されています。その時の富で満たされないなら、**新たな願望**が現れます。**権力に対する願望**です。これは個人だけに起きることではなく、歴史的にも全人類に起きたことです。全歴史は、これらの願望追求の進化でした。**権力は、1と2の両方を獲得させます**。これらを最も収集させる全システムのことです。これは、政治力、帝国主義、職場での力などです。自分が空になり、虚無を感じ、**第四願望**が現れます。それより大きな全願望を包有するもの、**知識への願望**です。知識はある意味、**物質的な世界の境界を定めているバリア(障壁)**といえます。これらの願望1、2、3、4、全ては私達が**快樂**として感知するものと関係があります。それらは私達を満たす私達の欲しいものです。知識は科学であり、宗教であり、アートであり、それは私達の考えている人間の**到達可能な頂点**です。しかし、この欲望に真剣に取り組み、それら満たそうとする人も、最終的にはこれも空っぽだったと発見します。**科学には物事の原因にたいする本当の答えが無い**と言うことです。目的に対する答えがないので、**機械的な答え**しかありません。答えは、これらの欲望に関係するものだけなのです。宗教は信仰を与えますが、私達の本当に望んでいる直接的な知識は与えません。これを満たしたことにより空になると、今までとは違った特別なことが起きます。この世界には無い、**新しい願望**が現れるのです。この願望は、**私達の心のなかにあり、心は世界とそれを越えた世界の願望を合わせたもの**です。この願望は、より大きな全く異なる段階の**現実から私達の中に置かれたもの**です。私達の心のなかに現れるものは「**心の点**」とカバリストが呼ぶものです。この点はより大きな現実の一部です。それには、スピリチュアリティの性質があり、その願望が満たされると今までの願望とは違って、それは私達の全部の経験と存在を占めるまで大きくなり続け、**霊的な世界に至らせる**ことができます。

では、**上層現実**とは何でしょう？ 全現実には到達したカバリストは、それは特定の質から構成されていると伝えます。私達は**上層世界に存在する特質と相反に創られていて**、これが**外在現実を感知できない理由**であると彼らは伝えます。よって、そこには全く何もないように見えるのです。私達が、この絵から分かったことは、私達、被造物、人間が**エゴイズムから構成されている**と言うことです。それが箱の中に在るものなのです。箱の中に在るものは「**受け取る意思**」と呼ばれています。この**受取る意思が、私達に制限された存在、苦しみ、孤立、人生における全ての困難を経験させます**。